



## 飛蚊症ってなあに???

## 網膜剥離って怖いのか???

眼科 安田 佳奈子

みなさんはモノを見ているときに黒い虫のようなものが動いて見えたことはありませんか? 形や大きさはさまざまで、視線を動かすと追いかけてくるような動きをする場合もあります。これを飛蚊症といいます。この飛蚊症の原因は生理的なものと目の病気が原因で起こるものとに分けられます。

生理的な原因で起こる飛蚊症は目の構造と密接な関係があります。

目の中は空洞ではなく透明なゲル状の硝子体(しょうしたい)という物質で満たされており、これは時とともに変化し一部にしわのようなものができます。するとこの部分が濁ってその影が網膜に映り視野の中で黒い点のように見えるのです。また加齢とともに硝子体が委縮してしまうと硝子体の後ろが網膜から剥がれてしまいこの部分が黒い点のように見えることもあります。近視が強い方は 20 代から症状を自覚する人もいます。このタイプの飛蚊症は健康な目にも起こる現象ですから、症状が進まない限りはあまり気にしないでいいでしょう。

■ 飛蚊症の見え方例

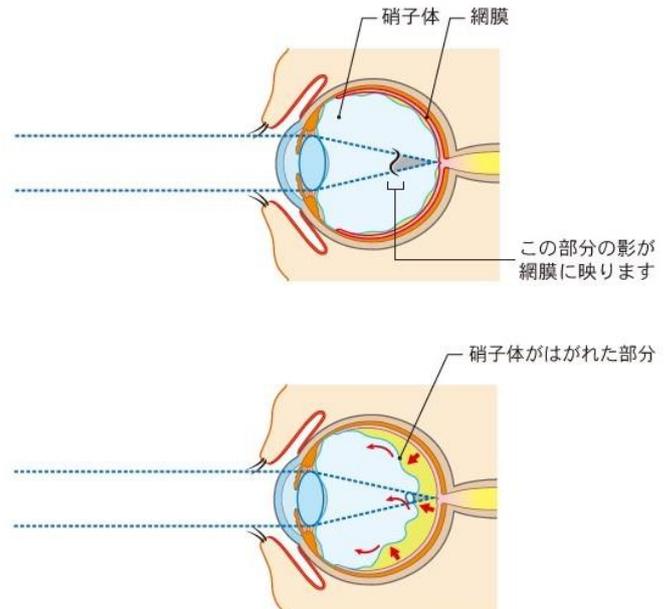


一方、飛蚊症を起こす体系的な病気には網膜剥離という病気があります。

網膜剥離とは、眼球の内側にある網膜という膜が剥がれて視力が低下する病気です。網膜の剥がれは痛みを伴わないため気づきにくいのですが、前兆としてこの飛蚊症があらわれることがあります。

ここで大事なことは、飛蚊症の原因が生理的なものなのか病気によるものなのかをはっきりさせることです。生理的な原因による場合は特に治療の必要はありません。

しかし網膜剥離などの病気が原因の場合は早急に治療が必要となります。



次のような症状がみられたら自分で判断せず是非眼科を受診しましょう。

- ① 黒い点の量や範囲が急に増えた
- ② 暗い場所で当然稲妻のような光が見えた
- ③ 急に視力が下がった
- ④ 視野の一部がかけている

